

## 令和5年度第1回茨城県立病院運営評価委員会の開催結果

日時：令和5年8月1日（火）17：30～19：00

場所：茨城県庁9階 901会議室

### 【出席委員】

城西大学教授	伊関 友伸 氏
公認会計士	清水 至 氏
(一社)茨城県医師会長	鈴木 邦彦 氏 (委員長)
群馬県立小児医療センター院長	浜島 昭人 氏
(一社)茨城県精神科病院協会会長	高沢 彰 氏
筑波大学附属病院長	原 晃 氏
(公財)茨城県総合健診協会顧問 (県医療改革担当顧問)	山口 巖 氏
(株)日立製作所日立総合病院長	渡辺 泰徳 氏

### 【議事内容・意見等】

#### ○議事内容

- ・茨城県病院事業中期計画（H30～R5）に基づく主な取組みについて
- ・次期茨城県病院事業中期計画骨子（案）について
- ・県立3病院の令和4年度決算（速報値）について
- ・令和4年度第1回茨城県立病院運営評価委員会の開催結果について

#### ○主な意見

- ・中央病院を含む水戸地区の5病院の再編は不可避である。医師も看護師も足りない中で、集約化して機能を上げて収支も改善する方向に向かうべきである。県央県北地域の県民が安心して過ごすためにも、5病院の役割について話を進めてほしい。
- ・コロナ補助金で内部留保が積みあがっているはずなので、財政的な余裕があるときに統合再編するチャンスである。建て替えを含めた整備の検討に当たっては、単なる現地建て替えや現地改修で終わることなく、もう少し踏み込んだ形で検討してほしい。
- ・次期茨城県病院事業中期計画には、精神科身体合併症病棟の設置について、はっきりと明記すべきである。
- ・次期茨城県病院事業中期計画を策定するに当たっては、事務が専門人材化できるので、経営形態を変更することについても積極的に検討する必要があると感じる。
- ・こころの医療センターについては、病床を減らすことで、個室化して医療の質を高め、民間の精神病院と患者のすみ分けを図り、診療機能を急性期に特化させるべきである。